

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2012.9.27 89

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2 - 2 - 1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
http://yamadakohei.jp

杉並区議会第三回定例会・決算特別委員会 国有地の活用で特養ホームの増設を!

増加し続ける待機者… 特養ホーム増設は急務の課題

九月二十六日(水)、決算特別委員会で質疑を行ない、高齢者施策と特別養護老人ホーム(以下、特養)の増設、介護保険制度について取り上げました。

現在、杉並区の特養の待機者(特に緊急性の高いAランク待機者)は増加の一途を辿っています(左表)。

老々介護や家族介護による家庭崩壊など、介護問題は深刻化しており、特養を始めとする施設整備と在宅介護を支える介護基盤の整備が緊急に必要ななっています。

杉並では、今後三年間に三〇〇床の増設を計画していますが(右下表・現状二六三名)、圧倒的に不足している現状です。



高年齢者施策全般について
決算特別委員会で質疑

特別養護老人ホーム入所希望者数(ランク別)

A	B	C	合計
999人	659人	197人	1855人

入所希望から入所までの期間

	区内	区外	その他	合計
平均期間	8ヵ月	4ヵ月	9ヵ月	6ヵ月

2012年8月末

特養ホームの施設整備について

総合計画(今後10年間の杉並区の計画)に基づき定員1000人、実行計画(2012年度~2014年度までの3年間)で定員300人増を目標に、用地確保や建設助成などにより、民間事業者による施設整備を進める予定です。

今後の整備予定

開設予定	計画施設	定員予定
2013年5月	和田一丁目 公有地	80人
2014年2月	高円寺北一丁目 区有地(増床)	57人
2014年4月	和泉四丁目 区有地	66人
2014年5月	和田一丁目 民有地	60人

都市部での用地不足の解消に 国有地の積極的活用を!

Aランク待機者が一〇〇〇名弱となっている杉並区で、三〇〇床の増設計画は不十分です。抜本的な拡充を図る必要があります。区内の国有地が次々と民間売却される現状をストップし、特養の増設等への土地活用を行なうよう求めました。

直近では方南町住宅跡地(九〇〇〇m²強)も民間売却される予定となっており、住民の財産である公有地の有効活用を積極的に行なう必要があります。

質疑では、荻窪住宅の建て替えにともなう増設や、南伊豆健康学園跡地での増設など、今後の特養増設に向けた検討状況が示されました。

外環道問題 資料提出の約束が曖昧に…

区長の発言は何だったのか？ 明確なデータを示すべき

今定例会の道路交通対策特別委員会で、外環道・外環の地上部街路（外環の2）を中心に質疑を行いました。

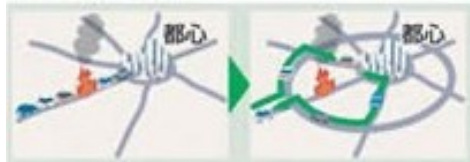
田中区長が本会議一般質問にて、「外環道が大規模災害時にも活用できるとする根拠を示すデータの提供」を約束したため、委員会でも資料の提出を求めました。

しかし、担当所管は、曖昧な答弁を繰り返し、資料提出を明確に約束しませんでした。質疑で数度、資料の提出を求めましたが、結局、最後まで明確な答弁をすることはありませんでした。

区長の発言は何だったのか？自治体の首長の発言には、責任ある対応がされるべきです。



■ 災害時の迂回補給



08年、首都高でタンクローリー事故が発生した際、幹線道路上で火災の危険性が明らかになりました。

国土交通省東京外かく環状国道事務所
東京リングステップのホムペーページより掲載

東日本大震災発生以降、災害時に活用できることが強調されていますが、安全性を示す資料などは示されていません。

他の質疑についても
「国や都が対応する」
「国が安全と言っているから問題は無い」などの、区の責任を丸投げするような答弁が繰り返されました。
基礎自治体として「住民が納得できる資料を集める」こと、「国・都に対して要望をあげる」などの役割を果たすことが求められます。

育メン日誌

まだまだ元気、カブトムシのお世話

今年の夏からカブトムシを飼い始めました。近所の保育園仲間のお宅では、カマキリやヤゴなど、昆虫を沢山飼っているそうで、我が家でも生き物を飼ってみようと思。まずはカブトムシに挑戦してみました。

私も子どもの頃は、よく生き物を飼っていましたが、最近のホームセンターでは、飼育グッズが何でも揃うことにビックリ！カブトムシの餌には、人間が食べても問題なさそうなゼリー状カップまで市販されており、息子が食べてしまわないかヒヤヒヤしました（笑）

息子は、毎日、頑張ってお世話をしており、夏も終わりましたが、カブトムシはまだまだ元気です。生き残っているのはメスだけになりましたが…。

卵を産んでくれているといいですね。来年の夏が楽しみです。



朝起きたら、まずは世話

区議会議員の仕事紹介 その2

議会活動は議員の本分

議員の仕事は多岐にわたりますが、議員の本分は、やはり議会活動です。日常の全ての活動が議会活動に集約されていきます。

例えば、この間、取り上げてきた「井草地域の認可保育所増設計画のとん挫問題」は、地元住民の方から、「土地確保が進んでいないけど、どうなってるの？」との指摘を受け、独自に調査する中で明らかになりました。

今回、取り上げている特養ホームの増設についても、日頃の生活相談で「Aランク待機者のご家族の方からの悲痛な訴え」が複数寄せられており、その声を受け、質疑を行ないました。

住民の声を代弁し、住民の要求や願いを実現するためには、日頃からの調査活動や、生活実態の聞き取りなど、あらゆることに取り組む必要があります。

また、日本共産党は日本全国に支部があり、黨員もいるため、様々な地域課題や住民の生活実態も寄せられてきます。議会活動にとっても、大きな力となります。



議会での質疑中(上)
日頃からの調査活動が重要(下)

二元代表制の一角、行政のチェック機能